

テストチューブ 老化試験機 Test Tube Ageing Tester

用 途

熱老化試験機のうち、特に添加剤を多く含んだ高分子材料で添加剤の移行性が問題となるゴム・プラスチックの熱老化試験に適した装置です。
加熱空気による有機材料の老化試験には、一般的にギヤー・オーブン(No.272)が広く使用されていますが、異種材料を同時に試験する場合、添加物の移行現象が起こります。これを防止する為、同種の試料のみをそれぞれ独立したセル(ガラス管)内に入れ、換気孔の付いた栓をし、高温に保持された加熱装置(油槽やメタルバス)の中で試験をする「テストチューブ法」が JIS、ASTMなどに規定されています。



型式 TA-1

※試験管一式はオプションです。

特 長

- ・この装置は、温度分布・安全性などを考慮したアルミニウムブロック製で、24本のチューブが同時に試験出来ます。
- ・個々のチューブで試験するので、他の試料からの影響を防ぐ事が出来ます。加硫ゴム及び熱可塑性ゴムの熱老化試験の規格試験機ではありますが、その他の材料、成形物の熱劣化試験機としても使う事は可能です。

加熱装置の構造

本体は円形構造で、保温材で囲まれた純アルミブロック内に、24個の試験管孔を有しています。アルミブロックに取り付けられたヒーターで温め、温度調節器によりPID制御され、試験管孔内の温度分布は±1%以内の精度を保っています。

安全対策

本機は安全対策として過昇温防止装置を有し、もし温度調節器の不調等により、温度が設定温度より超えた場合、ただちに電源回路を断つと同時に警報ランプが点灯し、ブザーが鳴るようになっています。

試験管

試験管はφ38mm×長さ300mmのホウケイ酸ガラス製です。試験片はコルクの中心から出ている試料吊具に掛けます。試料間にはステンレス製の金属ワッシャーを使用し、コルクの左右にある自然対流用パイプで試験管内の空気を対流させます。通常の試験片はJIS規格のダンベル等を使用します。

仕様

型式	TA-1	
試験本数	24本掛	
温度	最高：300℃ / 最低：室温+30℃	
温度調節	PID制御温度調節器	
安全対策	過温防止装置付	
参考規格	JIS K 6257 / ASTM D 865 / ISO 188	
電源	単相 AC200V 50/60Hz 25A	
機体寸法	W500×D720×H450mm	
質量	約120kg	
オプション	型式	内容
テストチューブ用試験管一式	TA-GT	コルク栓・フック・試験管24式・ワッシャー50個・アルミテープのセット
ヒーターON/OFF & ブザーOFF機能	PA-1	ヒーターON/OFFスイッチ・警報音ブザー停止スイッチ 過温防止器作動時の表示灯

関連製品

No.272 ギャー・オープン



2024.09

材料試験機の総合メーカー  株式会社 **東洋精機** 製作所

本社・東京支店 〒114-8557 東京都北区滝野川5-15-4

大阪支店 〒564-0044 大阪府吹田市南金田2-14-35(中央社ビル2F)

名古屋支店 〒461-0003 愛知県名古屋市中区筒井3-30-12(森ビル別館)

TEL 03-3916-8181 FAX 03-3916-8173

TEL 06-6386-2851 FAX 06-6330-7438

TEL 052-933-0491 FAX 052-933-0591

● <https://www.toyoseiki.co.jp/>

●記載内容は改良のため変更することがあります。